



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月7日

上場会社名 白銅株式会社

上場取引所 東

コード番号 7637 URL <http://www.hakudo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 角田 浩司

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 谷口 彰洋

TEL 03-6212-2811

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	31,845	28.2	2,175	58.8	2,233	59.2	1,539	57.4
29年3月期第3四半期	24,839	2.9	1,370	6.1	1,402	5.9	978	8.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,660百万円 (83.3%) 29年3月期第3四半期 905百万円 (10.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	135.78	—
29年3月期第3四半期	86.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	31,950	15,797	49.4
29年3月期	28,604	14,800	51.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 15,797百万円 29年3月期 14,800百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	58.50	58.50
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	63.00	63.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,700	20.4	2,530	27.4	2,600	27.3	1,780	26.7	156.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P8「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	11,343,300 株	29年3月期	11,343,300 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

30年3月期3Q	1,292 株	29年3月期	1,181 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	11,342,034 株	29年3月期3Q	11,342,240 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

業績結果

(a) 売上高

売上高は、前年同四半期比で28.2%増加し、318億4千5百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外景気や良好な雇用・所得環境、個人消費の回復を背景に企業の景況感は幅広い業種で改善し、業績見通しや設備投資に底堅さが見られました。

当社業績に影響が大きい半導体製造装置業界は、AIやIoTに関連する需要の拡大により好調に推移しております。液晶製造装置業界も、4K映像やスマートフォンの受注の広がりにより好調に推移しており、新技術である有機ELにおいてもその需要が拡大し、液晶製造装置業界同様に有機EL関連の製造装置の需要も伸長しています。

このような状況のなか当社グループは、国内事業の「ダントツの品質・ダントツのスピード・ダントツのサービス・納得の価格」による同業他社との差別化、海外事業の拡大、新規事業の構築を柱に企業価値および顧客満足の更なる向上を目指しております。

国内事業の同業他社との差別化といたしましては、平成29年11月に国内5番目の工場となる埼玉工場開設による生産能力の増強、自動化の推進、24時間365日お見積り・ご注文が可能なWEBサイト「白銅ネットサービス」をスマートフォンでもご利用になれる機能や他社在庫品もお取り寄せ可能な機能の追加により利便性を向上させました。

また、高精度材料をラインナップした「ハイスpekシリーズ」、欧州の厳しい環境規制に適合した「エコシリーズ」、航空・宇宙規格に適合した「航空宇宙規格材料シリーズ」など需要拡大が見込める特徴ある材料を中心に品揃えを増やしたことにより、標準在庫点数を前年期初の4,300品目サイズから5,000品目サイズへ拡充しました。

海外事業の拡大については、平成29年2月にベトナム国ホーチミン市内に駐在員事務所を開設し、東南アジア地域の市場調査および情報収集を強化しております。また、上海白銅精密材料有限公司においても「白銅ネットサービス」の中国版である「上海白銅ネットサービス」の利用度の向上に取り組んでおります。

新規事業の構築では、平成29年4月に2台目の3Dプリンターを導入し、アルミ造形サービスを開始し金属製品の受託製造の範囲の拡大を行うなど、製造体制や技術対応力を強化しております。

これらの結果、標準在庫品・特注品ともに販売重量は増加し、売上高が前年同四半期比で増加となりました。

(b) 営業利益

営業利益は、前年同四半期比58.8%増加し、21億7千5百万円となりました。

営業利益の増加要因は主に原材料市況の好転によるもので、当第3四半期連結累計期間の商品在庫に係わる相場差益は2億8千1百万円（前年同四半期は2億1千8百万円の相場差損）ありました。

人件費および運賃の増加、製造キャパシティのアップや新規事業の拡大にともなう設備投資により、減価償却費等の経費は増加しましたが、売上高が伸長したことにより原材料市況の影響額を除く営業利益は、前年同四半期比で19.2%増加となりました。

(c) 経常利益

経常利益は、営業利益の増加により前年同四半期比59.2%増加し、22億3千3百万円となりました。

以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億3千9百万円（前年同四半期比57.4%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりとなります。

当第3四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

セグメント	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
日本	30,573百万円	2,132百万円	2,185百万円	1,500百万円
中国	1,018百万円	34百万円	38百万円	31百万円
その他	252百万円	8百万円	8百万円	8百万円

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、319億5千万円と、対前連結会計年度末比で11.7%、33億4千5百万円増加しました。

流動資産は、246億2千4百万円と、対前連結会計年度末比で13.2%、28億6千5百万円増加しました。増加額は、受取手形及び売掛金23億1千万円、電子記録債権4億4千2百万円、商品及び製品5億9千2百万円他、合計33億8千8百万円です。減少額は、現金及び預金他で合計5億2千3百万円です。

固定資産は、73億2千6百万円と、対前連結会計年度末比で7.0%、4億7千9百万円増加しました。増加額は、機械装置及び運搬具などの有形固定資産3億9千8百万円、無形固定資産3千2百万円、投資その他の資産4千8百万円です。

流動負債合計は、161億2千2百万円と、対前連結会計年度末比で17.1%、23億5千万円増加しました。増加額は、支払手形及び買掛金10億3千万円、電子記録債務14億3千3百万円他、合計25億6千3百万円です。減少額は、未払法人税等1億1千7百万円、賞与引当金9千5百万円他、合計2億1千3百万円です。

純資産は、157億9千7百万円と、対前連結会計年度末比で6.7%、9億9千6百万円増加しました。増加額は、利益剰余金8億7千6百万円、その他有価証券評価差額金3千5百万円、子会社への出資金と子会社の累積損失を円換算した時の差異の為替換算調整勘定8千4百万円です。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の51.7%から49.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年11月9日の「平成30年3月期業績予想値と実績値の差異、並びに通期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました平成30年3月期の連結業績予想に変更はありません。

原材料市況は、アルミニウム地金（日本経済新聞月別平均値）がトン当たり前連結会計年度末の27万1千円から12月末は28万6千円に、電気銅建値は前連結会計年度末の69万円から12月末は85万円に、ステンレス鋼板（鉄鋼新聞月別中心値）は前連結会計年度末の33万円から12月末は34万円にいずれも上昇しました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,820,275	4,297,416
受取手形及び売掛金	11,259,171	13,570,110
電子記録債権	397,808	840,241
商品及び製品	4,935,778	5,528,305
原材料及び貯蔵品	16,969	23,617
繰延税金資産	244,636	244,715
その他	99,264	135,581
貸倒引当金	△15,678	△15,872
流動資産合計	21,758,225	24,624,114
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,734,569	7,281,874
減価償却累計額	△5,314,950	△5,433,166
建物及び構築物（純額）	1,419,619	1,848,707
機械装置及び運搬具	5,409,765	5,670,660
減価償却累計額	△2,904,931	△3,241,360
機械装置及び運搬具（純額）	2,504,834	2,429,300
土地	1,899,876	1,899,876
その他	500,364	565,265
減価償却累計額	△347,549	△367,494
その他（純額）	152,815	197,770
有形固定資産合計	5,977,144	6,375,654
無形固定資産	219,306	252,275
投資その他の資産		
投資有価証券	383,646	441,071
繰延税金資産	26,276	10,446
退職給付に係る資産	68,924	67,687
その他	170,858	178,947
投資その他の資産合計	649,705	698,153
固定資産合計	6,846,156	7,326,082
資産合計	28,604,381	31,950,197

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,112,772	10,143,230
電子記録債務	2,907,350	4,341,235
未払費用	650,573	685,578
未払法人税等	485,665	368,427
賞与引当金	312,136	216,151
役員賞与引当金	73,000	74,000
その他	230,829	294,088
流動負債合計	13,772,328	16,122,712
固定負債		
長期預り保証金	15,150	14,150
その他	16,206	16,249
固定負債合計	31,356	30,399
負債合計	13,803,684	16,153,111
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	621,397	621,397
利益剰余金	12,999,925	13,876,379
自己株式	△1,271	△1,460
株主資本合計	14,620,051	15,496,316
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96,342	132,210
為替換算調整勘定	84,302	168,558
その他の包括利益累計額合計	180,644	300,768
非支配株主持分	0	0
純資産合計	14,800,697	15,797,085
負債純資産合計	28,604,381	31,950,197

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	24,839,556	31,845,554
売上原価	20,568,001	26,217,831
売上総利益	4,271,554	5,627,722
販売費及び一般管理費	2,901,459	3,452,219
営業利益	1,370,095	2,175,503
営業外収益		
受取利息	5,408	5,294
受取配当金	9,506	6,296
不動産賃貸料	54,133	54,911
為替差益	—	461
その他	3,886	6,387
営業外収益合計	72,935	73,350
営業外費用		
不動産賃貸費用	9,969	9,705
固定資産処分損	3,811	1,981
支払手数料	467	376
為替差損	23,569	—
その他	2,753	3,779
営業外費用合計	40,571	15,841
経常利益	1,402,459	2,233,012
税金等調整前四半期純利益	1,402,459	2,233,012
法人税等	423,788	693,044
四半期純利益	978,670	1,539,967
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	978,670	1,539,967

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	978,670	1,539,967
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,548	35,868
為替換算調整勘定	△61,235	84,255
その他の包括利益合計	△72,784	120,123
四半期包括利益	905,886	1,660,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	905,886	1,660,091
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法により計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。